

## 令和6年度第1回目目黒区障害者自立支援協議会 報告事項（子ども部会）

### 1 活動報告及び活動を通じて得た課題

#### (1) 活動報告

4月:年間活動方針／運営体制／スケジュール／役割分担などの確認

5月:事例検討「中学生の不登校について」

不登校の現状、目黒区の状況等共有後、グループワークを実施

社会資源、課題などについて共有した。

\*傍聴参加:こどもば(横山さん)／にじっ子サポーターズ(小園さん)

障害施策推進課(水野係長、渡邊さん)

#### (2) 活動を通じて得た課題

※各部会の所掌する障害の分野に関する課題や他の部会と共有して解決すべき課題について記載してください。

・不登校の支援は、時間がかかること、簡単ではないこと、居場所の全容を網羅できないといった現状がある。支援の仕方が簡単ではない。支援者がいても片手間の対応ができず負担が大きい。

・どのような子にも「心理的安全性」が確保できる場が必要。そのような社会資源の現状の把握ができていない。費用の課題もある。

・港区の「中高生プラザ」、世田谷区の「不登校特例校」のような社会資源が目黒区にはない。

・不登校のお子さん、保護者の支援について、縦横の連携をどのように整えていくか。

### 2 本会議で協議したい事項

※本会議で協議したい事項がある場合は、その内容を具体的に記載してください。

福祉と教育の連携について具体的な取り組みについて

→今回は不登校児の事例を通して見えてきた課題に対する提案

文部科学省の『生徒指導提要』の、「不登校に関する基本指針」や「不登校児童生徒支援としての困難課題対応的生徒指導」に示されているように、実際に目黒区内で実現していくためには具体的に何を取り組むべきかを協議したい。

→6月の部会で、元文部科学省の不登校支援に携わってきた方をお招きして、

具体的な取り組み方を学ぶ予定。第2回目の本会への報告にて協議をお願いしたい。